

【資料4】

平成15年度航空機目視調査結果

(1) 調査目的

平成15年度環境月間における行事の一環として、嘉手納飛行場周辺における航空機騒音の発生状況や飛行状況等を調査し、実態を把握することにより、今後の騒音対策に役立てる。

(2) 調査日時、気象状況

平成15年6月17日(火) 午前9時～午後3時
 天気:曇り時々小雨 風向:南東 風速:7.7～9.4m/s

(3) 調査場所

嘉手納町字屋良1026番地3、道の駅「かでな」4階展望場

(4) 調査実施機関

衛生環境研究所、環境保全課、嘉手納町

(5) 調査方法

航空機騒音の測定を行うとともに、航空機の機種や離着陸の形態、滑走路の使用状況などを目視調査する。

(6) 調査結果

騒音レベル及び発生回数(70dB以上、エンジン調整音除く)

	ピークレベル(dB)		70dB以上	
	平均値	最高値	回数	継続時間(秒)
9時台	92.0	95.1	7	639.0
10時台	-	-	0	0.0
11時台	75.9	75.9	1	13.0
12時台	76.7	78.1	3	37.5
13時台	82.9	87.9	6	137.5
14時台	87.8	87.8	1	26.0
合計	-	-	18	853.0
平均値	88.6	-	-	-
最高値	-	87.9	-	-

飛行形態(全機数)

飛行形態	回数	割合(%)
離陸	24	52.2
着陸	13	28.3
タッチアンドゴー	0	0.0
ローパス	0	0.0
上空通過	8	17.4
その他	1	2.2
合計	46	100

機種

	機種名	機数	ピークレベル(dB)	
			平均値	最高値
1	F15(戦闘機)	12	89.8	90.4
2	F/A-18(戦闘機)	2	87.9	87.9
3	EA-6B(電子戦機)	2	95.1	95.1
4	C-130(輸送機)	1	75.9	75.9
5	KC-135(空中給油機)	1	85.6	85.6
6	HH-60(ヘリコプター)	7	76.6	80.7
7	B-747(輸送機)	1	87.8	87.8
合計		26	88.6	95.1

滑走路使用状況(離着陸回数)

	A	B
9時台	5	10
10時台	11	0
11時台	3	0
12時台	0	0
13時台	3	0
14時台	4	1
合計	26	11

(7) まとめ

午前中は戦闘機の離発着が主であったが、午後からはそれらに加え、ヘリコプターの旋回等の訓練が目立った。

最高値は9時36分にEA-6Bブラウラー（電子戦機）が離陸を行ったときに95.1dBを記録した（平成14年度はF15戦闘機の100.3dB）。

調査時間帯で騒音発生回数の多かった時間帯は9時台の7回で、累積継続時間は639.0秒であった。機種は、F15戦闘機が最も多く、全体の66.7%を占めていた。

70dB以上を記録した飛行形態は離陸が一番多かった（F15戦闘機及びEA-6Bの着陸の際には、70dB以上の騒音は観測されなかった）。

嘉手納町側の滑走路の使用が約7割あった。